

園のリーダーのために

# 保育ナビ

2022  
NOVEMBER  
〈8/12〉

11

特集

## 子ども主体の保育、人材育成、離職に効く 「リスペクト型マネジメント」 とは何か

～新時代のマネジメント手法

保育・教育の未来を探る  
～周辺領域との交わりから  
共に食べることの  
可能性

コンサルタントが読み解く  
新時代の園経営  
個々の特性に  
応じた職員育成の  
個別最適化

ステップアップ  
小学校との接続  
オンラインを  
使った接続の  
取り組み〈前編〉

Hoiku  
navigation

巻頭

フレーベルのこぼば 汐見稔幸 小西貴士

特集

子ども主体の保育、人材育成、離職に効く

# 「リスペクト型マネジメント」

とは何か …… 4

〜新時代のマネジメント手法

大豆生田啓友

保育悩みのタネ …… 16

大日向雅美

保育ナビらじお …… 18

大豆生田啓友 小西貴士

私の園の自慢の給食 …… 19

社会福祉法人銀杏の会

幼保連携型認定こども園 バンビの森こども園

♪

遊びが育つ保育 …… 20

保育者が提案する

クラス活動と遊び

河邊貴子

0・1・2歳児の  
保育のきほん …… 24

〜こころの育ち編〜

井桁容子

鼎談

保育・教育の未来を探る 〜周辺領域との交わりから …… 26

第11回 共に食べることの可能性 ―エディブルな社会のデザインへ！

藤原辰史（京都大学准教授） 小西貴士（森の案内人・写真家） 汐見稔幸（東京大学名誉教授）



『保育ナビ』編集部では大豆生田啓友先生（玉川大学）と共に、改革を積極的に行ってきた園取材してきました。そこから見えてきたマネジメントのキーワードが「リスペクト型マネジメント」です。園を改革に導く新しいマネジメントの考え方についてお伝えします。

保育ナビが  
伝えたいこと

## 自園のチームづくりと 組織づくりのヒントに

近年、様々なマネジメントの手法が世に出されています。そして、今回は本誌でも、新しいマネジメントの考え方として「リスペクト型マネジメント」を読者の皆さまにご提案しています。今月はほかにも、職員育成の個別最適化、若手保育者の本音、保育ファシリテーションなどのテーマを取り上げていますので、ぜひ、自園のチームづくり、組織づくりに役立てていただくと幸いです。―― 保育ナビ編集部

▶ マークのついているコーナーは毎月、保育ナビ倶楽部メールマガジン（年間購読特典）にて動画のご案内を配信します。ぜひ、ご登録ください！



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

国の動き

国の動きを読む！  
研究者の目2022 …… 34  
厚生労働省編  
矢藤誠慈郎

地域別 持続可能な  
園になるために2022 …… 36  
〈特別編〉編集委員会報告  
倉橋惣三の保育論から考える  
現代の「新と真」

園経営

コンサルタントが読み解く  
新時代の園経営 …… 42  
桑戸真二 大嶽広展

園

保育園 新米園長が、  
園長の仕事を考える …… 44  
柴田直美

リ

その「前提」は正しいですか？  
園内研修で取り組む  
園の危機管理 …… 46  
脇貴志

人材育成

人材育成  
わいわい語り場 …… 48  
大豆生田啓友

主

ここがすごい！  
日本の保育 …… 54  
秋田喜代美

保育内容

共に楽しく！  
共に橋を架けよう！  
ステップアップ  
小学校との接続 …… 58  
無藤隆  
寶來生志子  
杉前洋

年4回、実践事例を通して、日本の保育の特徴や良さ、その本質を紹介していただく企画です。3回目は「絵本や紙芝居などのお話の文化と環境の豊かさ」について教えていただきます。

リ

基礎研究から学ぶ 赤ちゃん学 …… 60  
森口佑介

始めよう

子どもの姿ベースの指導計画 …… 62  
三谷大紀 大豆生田啓友

園

保育、そこが知りたい …… 68  
うらら保育園

主

注目！  
保育の最新研究・調査 …… 74  
宮田まり子

歯医者さんが教える！  
口の発達と健康 …… 76  
藤原康生

巻末

子どもと保育を思う日々から  
無藤隆

オンラインの活用で小学校との接続にはどんな変化が生まれるのでしょうか。今月は、小学校の校長が始めた園長・校長の交流会の取り組みを取り上げます。

特集

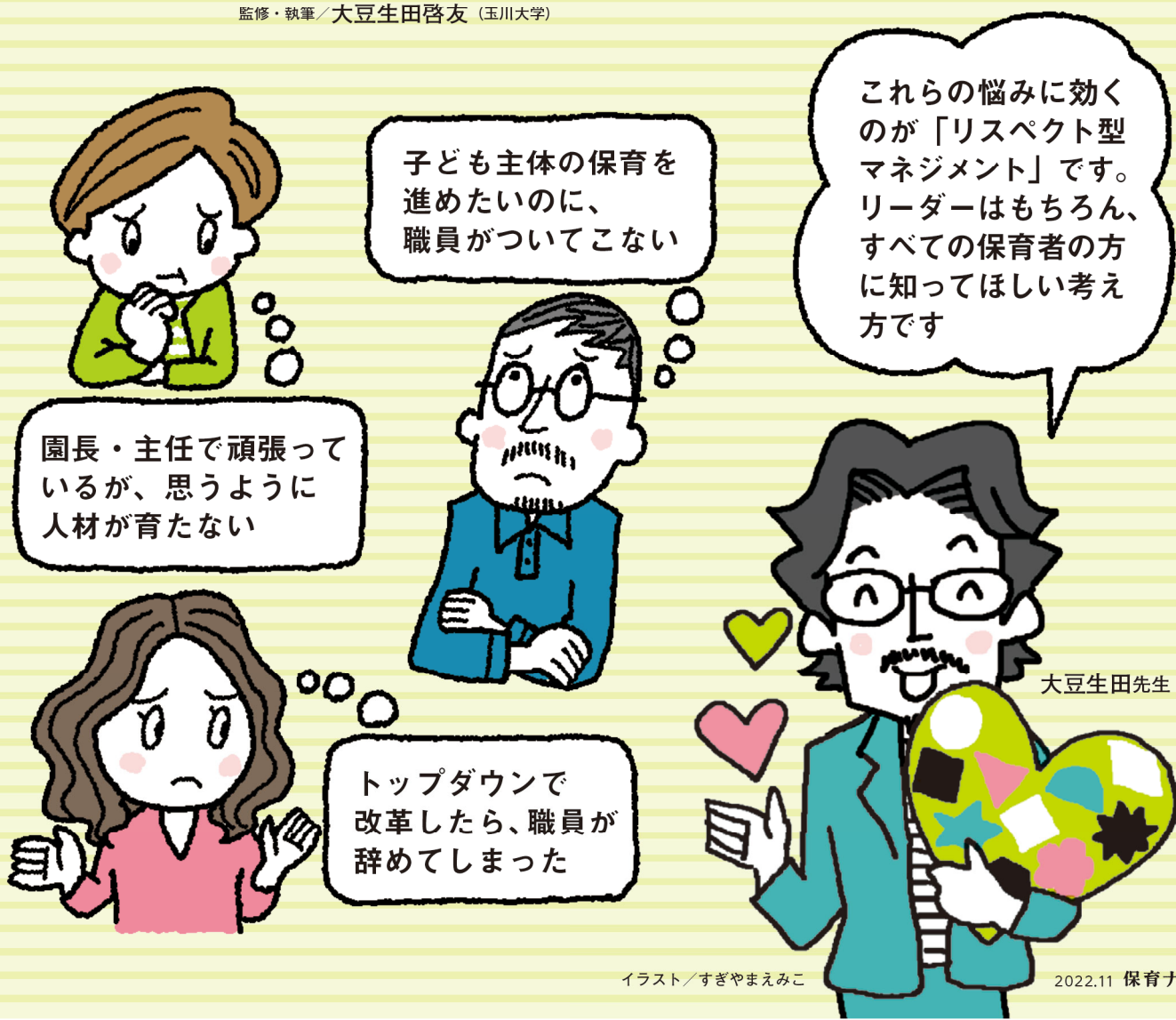
子ども主体の保育、人材育成、離職に効く

# 「リスペクト型 マネジメント」 とは何か

～新時代のマネジメント手法

『保育ナビ』編集部では大豆生田啓友先生(玉川大学)と共に4年間にわたり、組織改革を積極的に行ってきた園取材してきました。そこから見えてきたマネジメントのキーワードが「リスペクト型マネジメント」です。今年8月には、豊富な取材事例とともに解説した書籍『実践から読み解く 園のリーダーのためのリスペクト型マネジメント』(①組織改革の4つの視点、②語り合う保育の12か月)(いずれも、大豆生田啓友/編著、小社刊)を出版。そこで、本特集では、新刊からエッセンスを抜粋し、園の保育や組織を改革に導く新しいマネジメントの考え方についてお伝えします。

監修・執筆/大豆生田啓友(玉川大学)





実践から読み解く

園のリーダーのための  
リスペクト型マネジメント

① 組織改革の4つの視点

編著 / 大豆生田啓友

定価 / 3,300円 (本体3,000円+税10%)  
96ページ、26×18cm  
ISBN978-4-577-81519-9 108-15



実践から読み解く

園のリーダーのための  
リスペクト型マネジメント

② 語り合う保育の12か月

編著 / 大豆生田啓友

定価 / 3,300円 (本体3,000円+税10%)  
96ページ、26×18cm  
ISBN978-4-577-81520-5 108-16

保育ナビブック

実践から読み解く

園のリーダーのための  
リスペクト型  
マネジメント

1巻では、豊富な事例とともに4つの視点から「リスペクト型マネジメント」について解説し、実践のためのワークシートを収録。2巻では、リスペクト型マネジメントを踏まえた「語り合う保育」への改革について解説し、1年を通じたチームづくりや新人保育者育成、就職学生・実習生への対応、労務管理について、実践のポイントを紹介します。



本書の特設ページに、ぜひアクセスしてみてください！

4年にわたる  
取材から見てきたのが  
リスペクト型  
マネジメント！

2018年から本誌の連載では、質の高い保育をデザインしていく視点と園の変革に取り組むリーダーのあり方を探ったほか、新人保育者の育成や新園のチームづくりのポイントを取り上げました。それらの取材から、今回ご紹介する「リスペクト型マネジメント」の視点が見えてきました。



連載期間

2018年4月号～2020年3月号  
2020年4月号～2021年3月号  
2021年5月号～2022年3月号

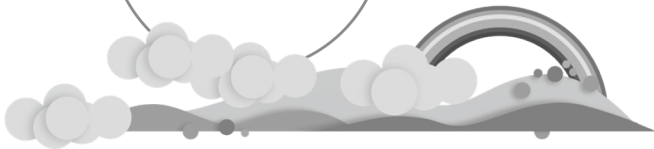
連載タイトル

保育の質 3つの要素～保育の質を実践から探る  
12か月のストーリーで見る！ 人材育成のポイント  
新時代の園をデザインする リーダーたちの人材育成・マネジメント

Contents

- 1 園のマネジメントが求められる背景 …P.6
- 2 「リスペクト型マネジメント」とは何か …P.8
- 3 [座談会] リーダーシップのあり方と、  
これからのマネジメントのあり方 …P.10

# index



## 国の動き

34

国の動きを読む！ 研究者の目2022  
〈厚生労働省編〉  
幼保連携型認定こども園で  
勤務する保育教諭に係る  
保育士資格取得の特例について

36

地域別  
持続可能な園になるために2022  
特別編  
倉橋惣三の保育論から考える  
現代の「新と真」

## 園経営

42

コンサルタントが読み解く  
新時代の園経営  
個々の特性に応じた  
職員育成の個別最適化

44

保育園 新米園長が、  
園長の仕事を考える  
自然素材で遊ぶ

46

その「前提」は正しいですか？  
園内研修で取り組む園の危機管理  
園外活動を安全に行う

## 人材育成

48

人材育成 わいわい語り場  
若手保育者の  
本音を聞いてみたら……②

54

ここがすごい！ 日本の保育  
「絵本や紙芝居などの  
お話の文化と環境の豊かさ」  
↳ 伝統的に大事にされてきた  
お話の文化とそれを支える質

## 保育内容

58

共に楽しく！ 共に橋を架けよう！  
ステップアップ 小学校との接続  
オンラインを使った  
接続の取り組み〈前編〉

60

基礎研究から学ぶ 赤ちゃん学  
がまんする  
がまんすることとさせること

62

始めよう  
子どもの姿ベースの指導計画  
子どもと共につくる指導計画  
↳ 具体的な子どもたちの声・姿を  
反映するための工夫

68

保育、そこが知りたい  
保育ファシリテーション  
を知る

74

注目！ 保育の最新研究・調査  
遊びにおける  
リスクとベネフィット

76

歯医者さんが教える！  
口の発達と健康  
唾液のチカラ④  
↳ アレルギー対策



汐見稔幸 監修

# 保育・教育の 未来を探る

## ～周辺領域との交わりから

第11回 共に食べることの可能性  
 — エディブルな社会のデザインへ！

保育は、人間を育てるという、ある意味でたいへん難しい仕事です。人間と文化のあり方、そして人間と社会のあり方の根本に立ち返って保育という営みを考えることなしに、本当の保育は見えてこないのではないかと、私は考えています。コロナ禍における「黙食」や、園や学校の給食の安全性と無償化についてなど、子どもの食についていくつか関心をもってきました。世界的な食糧危機が懸念される今、食について改めて考え合うことが必要と考えています。今回は食の思想史を専門とする藤原辰史さんをお招きして、ぐうたら村で共に活動している小西貴士さんと一緒にお話をうかがいます。

(座談会はオンラインで2022年6月23日実施)



藤原辰史 (ふじはら たつし)

1976年、北海道生まれ。京都大学人文科学研究所准教授。専門は、農業史、食の思想史。「ナチス・ドイツの有機農業」(柏書房)で2006年日本ドイツ学会奨励賞、『給食の歴史』(岩波新書)で2019年辻静雄食文化賞、『分解の哲学』(青土社)で2019年サントリー学芸賞など、著書の受賞多数。



小西貴士 (こにし たかし)

森の案内人であり写真家。ハヶ岳南麓の森で子どもを含む命を考え、撮り、また考える。自然に抱かれた保育者の学びの場「ぐうたら村」を主宰。著書に、『チキウニウマレテキタ(子どもとSDGsをひらくシリーズ)』(風鳴舎)、『子どもと森へ出かけてみれば』(フレーベル館)など多数。



汐見稔幸 (しおみ としゆき)

1947年、大阪府生まれ。東京大学名誉教授。白梅学園大学名誉学長。保育者の学びの場「ぐうたら村」村長。東京大学教育学部卒、同大学院博士課程修了。主な監修に『0・1・2歳児からのていねいな保育』(全3巻、フレーベル館)、共編著に『保育のグランドデザインを描く』(ミネルヴァ書房)ほか多数。



子どもたちの豊かな  
経験の機会を保障し、  
どのように一人ひとりの  
育ちにつないでいけるか、  
考えています。



執筆 宮田まり子  
(白梅学園大学 准教授)

注目!

# 保育の最新 研究・調査

保育の様々な研究・調査にかかわる研究者が最新情報を解説。研究者から見た「保育の今」がわかります。

保育内容

## 遊びにおけるリスクと ベネフィット

私が現在行っている研究テーマの1つは「遊びにおけるリスク」です。

園や地域の環境は、基本的には安心・安全でなければなりません。各園では、安全であり、安心して過ごせるための様々な配慮や工夫がなされているのではないかと思っています。

子どもの創造的で挑戦的な遊びにおいて、安定していた場に変化

が起こり、結果的にリスクが生じることはあります。遊びの中での安全を確保するためには、状況の変化を見越した管理が必要になってきます。

しかし一方で、そのようにリスクが生じる創造的な展開や、挑戦的な遊びにこそ、子どもたちの豊かな育ちが期待できるといったベネフィット（便益）が生じる場合も多くあります。

よって、子どもが創造したり挑戦したりする場の安全性を保育者が管理することは重要ですが、同時に、子どもが自らその場を体験し、安全に気を配る方法を身につけたり、時には自ら回避したりするなど、それぞれが自らの課題を乗り越えていく力を育む機会を保障することもまた、大切な援助の1つであるといえます。

リスクとベネフィット、  
その関係は？

David Ballらが2012年に示した、遊び場におけるリスク管理に関するガイドでは、遊びにおけるリスクとベネフィットは簡単には比較できないことが述べられています。このガイドには、「回避可能な深刻な被害から子どもを守るという目標」と「刺激的で冒険的な遊びの機会を提供するという目標」の2つを同時に考慮することが示されています。そして遊びにおけるベネフィットは、

\* Play Safety Forum (2012) Managing Risk in Play Provision: Implementation Guide (2nd edition), National Children's Bureau





リスクを取り除けば増大するということでもなく、ある程度のリスクがベネフィットを生み出すこともあるということ、また、ここでベネフィットには、経験的な育ちも含み、簡単に数値化できるものではないとされています\*。

野間教育研究所幼児教育研究部門（メンバー：秋田喜代美・大澤洋美・久留島太郎・境愛一郎・箕輪潤子・宮田まり子）が2020年度に実施した調査（インタビュー調査及び質問紙調査）においても、日本の多くの園で、園管理者や保育者が一方的にリスクを管理しているのではなく、子どもが自ら安全に過ごすことができるように指導されていることがわかりました（図）。

### 話し合い、違いを認め、共に考える

子どもたちが自ら安全に過ごすための力を得るために、どのような配慮や援助が必要なのでしょう

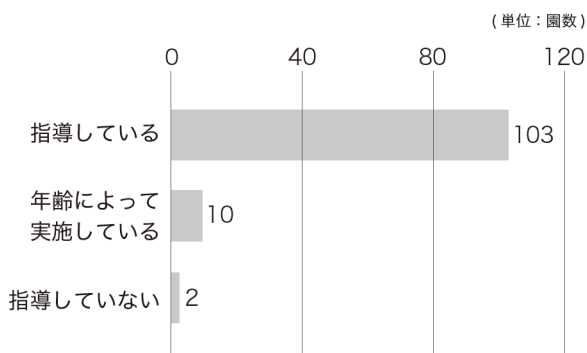
か。東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター園庭調査研究チーム（メンバー：秋田喜代美・石田佳織・辻谷真知子・宮本雄太・宮田まり子）が2016年から実施しているインタビュー調査の中で、遊びの中でのリスクを育ちにつなげるための保育のヒントとして次のことがわかってきています。

それは、① 挑戦に対し、過度な援助はしないこと（例えば高所に登る際に手伝うのではなく、その人が自力で登れる範囲の高さにすること）② 段階的に難易度を設定していくこと（そのためにも子どもの状態理解に努めること）③ 各々の怖さや危険に対する感覚の違いがあることを認め、理解し合うことの3点です。

そして、これらを実施している園では、職員間での振り返りとなる情報の伝達に留まらない、開かれた対話の時間が重視されています。

ました。保育者も保護者も子どもも、園に関係するあらゆる人に経験の違いや感覚の違いがあります。この違いを認め合い、共に考え、子どもたちの豊かな経験の機会を保障し、どのように一人ひとりの育ちにつないでいくことができるのか、今後も様々な実践に学びながら考えていきたいと思えます。

図：問「場所を問わず遊びでの危険を知らせ、自分でも判断できるよう指導している」に対する回答結果 (n=115)



プロフィール ● 宮田まり子（みやた まりこ）／白梅学園大学子ども学部及び同大学大学院子ども学研究科准教授。これまで保育の場に参加させていただき、子どもたちの遊びを通して、遊ぶ中に豊かな育ちがあることを実感してきました。以来、特に遊びの中での様々な物や人との「やりとり」に着目し、調査研究を行っています。

『保育ナビ』編集部からお知らせ

毎月1名様に  
QUOカード(3,000円分)を  
プレゼント

Present!

『保育ナビ』へのご意見・ご感想をお寄せください。

『保育ナビ』に関するご意見・ご感想をお待ちしています。応募は巻末のアンケートハガキから!  
(11月号の応募締切は11月末消印有効です)

『保育ナビ』の情報をもっと!

『保育ナビ』編集部では、4つのメディアでも保育情報を配信しています。

保育に役立つ情報がつまった  
メールマガジン「保育ナビ倶楽部」

[https://www.hoiku-navigation.com/  
news/22mail/](https://www.hoiku-navigation.com/news/22mail/)



『保育ナビ』の公式 Facebook

[https://www.facebook.com/  
froebelkan.hoikunavi/](https://www.facebook.com/froebelkan.hoikunavi/)



『保育ナビ』の公式 web サイト

<https://www.hoiku-navigation.com/>



『保育ナビ』YouTube チャンネル

[https://www.youtube.com/channel/  
UCP4zj6p\\_z7LQ-G0ecoFY1fQ](https://www.youtube.com/channel/UCP4zj6p_z7LQ-G0ecoFY1fQ)



保育ナビ

『保育ナビ』編集部からお知らせ

## 保育に役立つ情報が詰まった メールマガジン『保育ナビ倶楽部』

『保育ナビ』年間購読者限定のメールマガジン『保育ナビ倶楽部』（登録無料）。保育に役立つ情報をメールマガジンでお届けします。

### 配信情報の一部を紹介

- ★井桁容子先生解説動画  
「0・1・2歳児保育」（毎月）
- ★河邊貴子先生執筆 「暮らし」のエッセイ（毎月）
- ★田澤里喜先生執筆 「情報発信力」コラム（毎月）
- ★桑戸真二先生監修 「園経営」コラム（隔月）
- ★フレーベル館の新刊情報やセミナー情報（随時）



3分で  
登録  
できます

会員登録は、こちらから→  
<https://www.hoiku-navigation.com/news/22mail/>



イラスト●すみもとなみ

# 保育ナビ

## フレーベル館主催セミナーのご案内

幼稚園・保育所・認定こども園の保育者様を対象としたLIVE オンラインセミナーとオンデマンドセミナーをご紹介します。

### フレーベル館 2022年11・12月開催のLIVE オンラインセミナー

(LIVE開催のセミナーです。各セミナー、開催2週間後より14日間の収録配信がついてきます)

#### 保育と自然の関係を考える

##### 第3回 実践から考えよう

自然を消費する社会から自然と共に生きる社会への転換が起こる昨今、保育を行うなかでも自然とのかかわり方について改めて考える必要があります。本セミナーでは、これからの時代の保育や子どもにとっての自然の意味について、また、園での実践から考えていく課題やその解決へのアプローチについて取り上げていきます。

LIVE 開催日時：11月9日(水) 13:15～14:30

価格：5,500円(税込)

講師：小西貴士先生

(森の案内人/ぐうたら村共同代表)



#### 法令を遵守した園運営のために

##### ～一人ひとりが知っておきたい法律の知識～〈全2回〉

園でもし法的責任が問われるようなトラブルが発生したら、どのような対応を取るべきなのでしょう。園での立場に応じて、全2回でお伝えいたします。トラブルを未然に防ぐために、普段から講じておきたい措置についてもお話しします。受講者からの質問にもお答えします。

LIVE 開催日時：

11月30日(水) 13:15～14:30 第1回 管理職層編

12月14日(水) 13:15～14:30 第2回 現場職員編

価格：全2回 12,100円(税込)

第1回 6,600円(税込)

第2回 5,500円(税込)

講師：木元有香先生

(弁護士・保育教諭)



※ウェブ会議サービスZoomによるオンラインセミナーです(収録配信には動画共有サイトVimeoを使用します)。

※本研修会は(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構後援『研修ハンドブック』押印対象講習会です。

※セミナーの詳細は申込フォームにてご確認ください。 ※よりよい内容のセミナーにするため、一部変更となる可能性がございます

### ただいま配信中のオンデマンドセミナー

(収録したセミナーをご希望月1か月間ご視聴いただけます)

セミナー名	講師	価格
ウィズコロナ時代の指導計画と職場づくり 〈ミニセミナー+全3回分〉	大豆生田啓友先生(玉川大学 教授) 他	14,000円(税込)
キャリア別セミナー 園での役割を踏まえた スキルアップ・マネジメントのあり方を学ぼう 〈全4回分+オンデマンド追加収録〉	師岡章先生(白梅学園大学 教授)	18,700円(税込)
実技セミナー(科学遊び・運動遊び・あそび歌) 〈通常版+コンパクト版〉	五十嵐美樹先生(東京大学大学院情報学環 客員研究員) 堀内亮輔先生(東京女子体育大学 専任講師) 荒巻シャケ先生(保育シンガーソングライター)	5,500円(税込)
21世紀型「子ども主体の保育」 〈オンデマンド収録+夏季セミナー全3回分〉	汐見稔幸先生(東京大学 名誉教授) 若盛正城先生(認定こども園こどものもり園長) 荒巻シャケ先生(保育シンガーソングライター) 若盛圭恵先生(認定こども園こどものもり教頭)	16,500円(税込)
幼児教育から小学校教育へのつながり あそびのなかから生まれる学びとは	吉永安里先生(國學院大学 准教授)	4,400円(税込)
「遊び」と「子どもの育ち」を考える〈全3回分〉	田澤里喜先生(玉川大学 教授/東一の江幼稚園 園長)	19,800円(税込)
いまこそ求められる災害に強い園～そのときどう動くか？ どのように備えるか？～〈全2回分〉	猪熊弘子先生(ジャーナリスト)	14,300円(税込)
幼児教育としての保育環境づくり ～子どもが遊び込める玩具とは～	高山静子先生(東洋大学 教授)	6,600円(税込)
生き生きと遊び豊かに育つ保育を目指して〈全3回分〉	宮里暁美先生(お茶の水女子大学アカデミック・プロダクション 特任教授)	22,000円(税込)
0～2歳児の心の育ち〈全3回分〉	和田美香先生(東京家政学院大学 准教授)	22,000円(税込)
3～5歳児の心の育ち〈全3回分〉(12月より配信予定)	和田美香先生(東京家政学院大学 准教授)	22,000円(税込)
乳児の保育実践〈全3回分〉(12月より配信予定)	井桁容子先生(乳幼児教育実践研究家)	22,000円(税込)

※セミナー名、配信予定時期、価格は変更になる場合がございます

申込方法・セミナーの詳細はフレーベル館ホームページからご確認ください。

(右の二次元コードからアクセス、もしくは「フレーベル館 セミナー」で検索してください)

【問い合わせ先】

株式会社フレーベル館 セミナー事務局

メール：seminar@froebel-kan.co.jp

電話：03-5395-6637

